HONDA
The Power of Dreams

Hondaナビゲーションシステム　取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズDVDナビコンポ

VXD-079MCV

オーディオ編

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　COMPACT disc ReWritable　COMPACT disc Recordable　DVD VIDEO　DVD VIDEO　Mini Disc　MDLP　MP3　WMA

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda 純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

・当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
・Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
・商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

※取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、本機の作成時期・種類等によって異なることがあります。

安全に正しくお使いになるために

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

⚠危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

●その他の表示

お知らせ
操作に関するお知らせです。

アドバイス
使いこなすためのアドバイスです。

お願い
お車のために守っていただきたいことです。

●製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
　これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
●仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

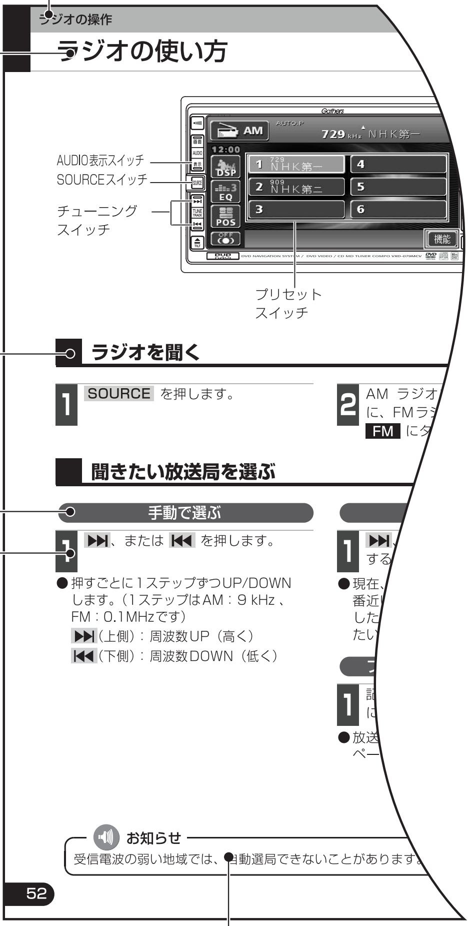
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

詳細操作タイトル

詳細な操作目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

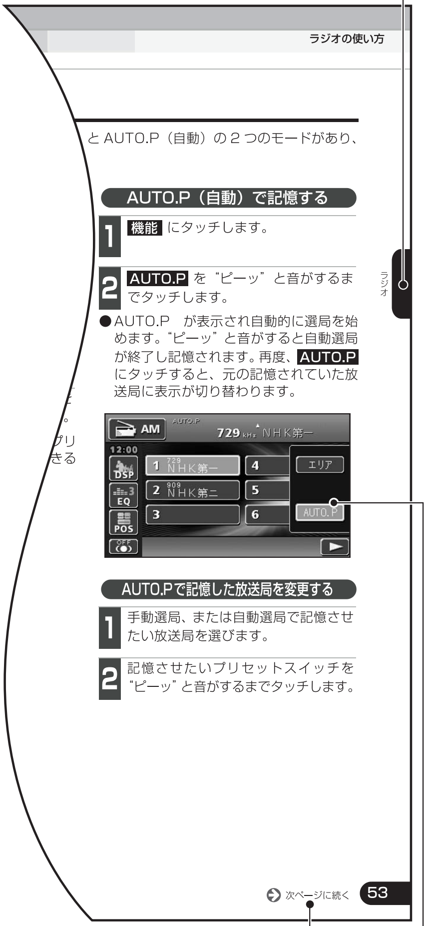


お知らせ

操作に関連することなどを記述しています。

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。



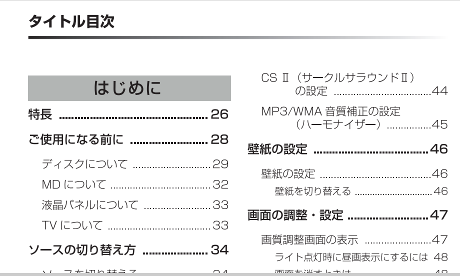
次ページに続く

操作手順が次ページに続く場合を表します。

操作画面

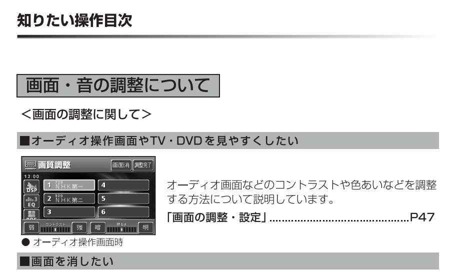
操作する画面を表示しています。

タイトル目次



本のタイトル項目を順番に並べたものです。

知りたい操作目次



各機能ごとにタイトル項目を抜粋したものです。

操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索してお使いください。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、○○○（AUDIO・SOURCE など）でスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、○○○ でスイッチ名称を表示しています。

1 つ前の画面に戻すときは 戻る にタッチすると 1 つ前の画面に戻り、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

タイトル目次

はじめに

特長 26

ご使用になる前に 28

ディスクについて 29
MD について 32
液晶パネルについて 33
TV について 33

基本操作

ソースの切り替え方 34

ソースを切り替える 34
【SOURCE】で切り替える 34
ソーススイッチで切り替える 34

各ソースの操作画面 35

音の調整 36

主音量の調整 36
操作音の設定 36
小音量時の低・高音調整 37

音質の調整 38

音質調整画面の表示 38
DSP（音場）の設定 39
EQ（イコライザ）の調整 40
音質を設定する 40
EQ カーブの調整、記憶 40
EQ カーブをリセットする 41
POS（ポジショニングセレクター）の調整 42
音量バランスの調整 43
CS Ⅱ（サークルサラウンドⅡ）の設定 44
MP3/WMA 音質補正の設定（ハーモナイザー） 45

壁紙の設定 46

壁紙の設定 46
壁紙を切り替える 46

画面の調整・設定 47

画質調整画面の表示 47
ライト点灯時に昼画表示にするには 48
画面を消すときは 48
画質の調整 49
優先画面の設定 50
画面モード切り替え 51

ラジオの操作

ラジオの使い方 52

ラジオを聞く 52
聞きたい放送局を選ぶ 52
手動で選ぶ 52
自動で選ぶ 52
プリセットスイッチから選ぶ 52
放送局を記憶する 53
マニュアル（手動）で記憶する 53
AUTO.P（自動）で記憶する 53
AUTO.P で記憶した放送局を変更する 53
エリアスイッチについて 55
交通情報を受信する 55
周波数を記憶させる 55
局名スイッチについて 56
ラジオを止める 56

CD プレーヤーの操作

CD プレーヤーの使い方 58

CD を聞く 58
聞きたい曲を選ぶ 58
早送り･早戻しする 60
同じ曲を繰り返して聞く 60
曲の順番をランダムに聞く 60
聞きたい曲を探す 61
CD を止める 61

MP3/WMA プレーヤーの操作

MP3/WMA プレーヤーの使い方 62

MP3/WMA を聞く 62
聞きたいフォルダを選ぶ 63
聞きたい音楽ファイルを探す 63
ファイル切り替えスイッチから選ぶ 63
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 63
早送り・早戻しする 63
1 つ上の階層を表示する 63
現在の階層を表示する 64
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 64
順番をランダムに聞く 64
聞きたい音楽ファイルを探す 65
音楽ファイル情報などを表示する 65
MP3/WMA を止める 65
MP3/WMA について 66
再生可能な MP3 ファイルの規格について 66
再生可能な WMA ファイルの規格について 67
ID3 タグ /WMA タグについて 67
使用できるメディアについて 67
使用できるディスクのフォーマットについて 68
ファイル名について 69
CD-R、CD-RW について 69
マルチセッションについて 69
MP3/WMA の再生について 69
MP3/WMA の演奏時間表示について 69
MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番 70
MP3/WMA ファイルの再生順番 71
MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方 72
インターネット上の MP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合 72
音楽 CD から MP3/WMA ファイルに変換する場合 72
CD-R/ RW に書き込む場合 72
CD-R/RW を再生する場合 72

MD プレーヤーの操作

MD プレーヤーの使い方 74

MD を聞く 74
聞きたい曲を選ぶ 74
早送り･早戻しする 75
同じ曲を繰り返して聞く 75
曲の順番をランダムに聞く 75
聞きたい曲を探す 76
聞きたいグループを探す 76
MD を止める 76

TVの操作

TV の使い方 78

TV を見る 79

見たいチャンネルを選ぶ 80

手動で選ぶ 80

自動で選ぶ 80

プリセットスイッチから選ぶ 80

チャンネルを記憶する 80

マニュアル（手動）で記憶する 80

AUTO.P（自動）で記憶する 80

AUTO.P で記憶したチャンネルを
変更する 80

TV 設定画面の切り替え 82

エリアスイッチについて 82

局名スイッチについて 83

音声多重放送を切り替える 83

TV モードを終わる 84

DVD/VTRの操作

DVD プレーヤーを お使いになる前に 86

DVD ビデオの特長 86

マルチ音声機能について 86

マルチアングル機能について 86

字幕表示機能について 87

ディスクについて 87

再生できるディスクの種類に
ついて 87

再生可能なディスクの地域番号
（リージョンコード）
について 87

ディスクに表示されている
マークについて 88

ディスクの構成について 88

操作の流れについて 89

DVD プレーヤーの使い方 90

DVD を見る 90

映像を操作する 90

映像を再生する 90

早送り・早戻しする 91

チャプターを繰り返し再生する 91

映像を一時止める 91

映像を止める 91

ディスクメニューを操作する 92

ダイレクトタッチ操作画面から
選ぶ 92

タッチスイッチから選ぶ 92

DVD を止める 93

見たい映像を探す 93

チャプターから探す 93

タイトル番号から探す 94

チャプター番号から探す 94

タッチスイッチの表示を切り替える 95

タッチスイッチを消す 95

タッチスイッチの表示場所を切り替える 95

画面表示・音声の切り替え 96

アングルを切り替える 96

字幕言語を切り替える 97

音声言語を切り替える 98

DVD プレーヤーの設定 99

音声言語を設定する 100

字幕言語を設定する 100

メニュー言語を設定する 101

マルチアングルマーク
（アングル選択マーク）の
表示を設定する 101

視聴制限を設定する 102

映像出力を切り替える 103

言語コード一覧 104

VTR の使い方 105

VTR を見る 105

VTR 設定画面の切り替え 105

VTR モードを終わる 106

ご参考に

知っておいて
いただきたいこと 108

こんなメッセージが
表示されたときは 108

故障とお考えになる前に 110

用語説明 112

索引 114

知りたい操作目次は各機能の説明ページを簡単に検索できます。
操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索
してお使いください。

画面・音の調整について

＜画面の調整に関して＞

■オーディオ操作画面やTV・DVDを見やすくしたい

● オーディオ操作画面時

オーディオ画面などのコントラストや色あいなどを調整する方法について説明しています。

「画面の調整・設定」..P47

■画面を消したい

● オーディオ操作画面時

ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。

「画面を消すときは」..P48

■壁紙を切り替えたい

壁紙の切り替え方法について説明しています。

「壁紙を切り替える」..P46

■画面をワイドモードにしたい

TV、DVD、VTRの画面表示サイズを切り替える方法について説明しています。

「画面モード切り替え」.......................................P51

＜音の調整に関して＞

■音量をかえたい

音量を調整する方法について説明しています。

「主音量の調整」..P36

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

スイッチを押したときなどの操作音を設定する方法について説明しています。

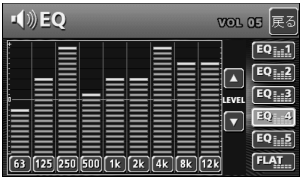
「操作音の設定」..P36

■音質をかえたい

車室内の音質を調整する方法について説明しています。

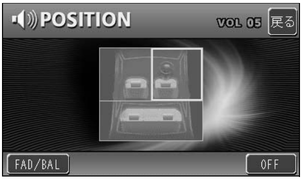
●演奏会場を擬似的に創り出したい

「DSP（音場）の設定」.......................................P39



●イコライザを調整したい

「EQ（イコライザ）の調整」.................................P40

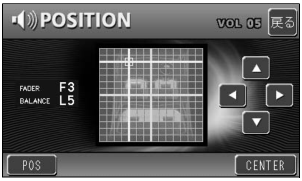


●乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい

「POS（ポジショニングセレクター）の調整」.....P42

●低音の迫力感や音像の定位感を再現したい

「CS Ⅱ（サークルサラウンドⅡ）の設定」...........P44



●前後左右の音量バランスを調整したい

「音量バランスの調整」..P43

●MP3/WMAの音質を調整したい

「MP3/WMA音質補正の設定（ハーモナイザー）」...P45

オーディオ関係

＜ラジオの使い方について＞

■ラジオを聞きたい

ラジオを受信する方法について説明しています。

「ラジオを聞く」..P52

■放送局を探したい

放送局の手動選局や、自動受信について説明しています。

「聞きたい放送局を選ぶ」......................................P52

■放送局を記憶させたい

プリセットスイッチ

選局した放送局をプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

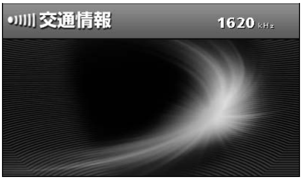
「放送局を記憶する」...P53

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局や周波数を表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..................................P55

■交通情報を聞きたい



交通情報を聞く方法について説明しています。

「交通情報を受信する」..P55

■重複した放送局名を切り替えたい

同じ周波数で放送局名が重複している場合、放送局名を切り替える方法について説明しています。

「局名スイッチについて」......................................P56

＜CDプレーヤーの使い方について＞

■CDを聞きたい

CDを再生する方法について説明します。

「CDを聞く」..P58

■聞きたい曲を選びたい

次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」..P58

■聞きたい曲が何番目に入っているかわからない

全曲の始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」..P61

■いま聞いている曲を繰り返し再生したい

いま聞いている曲を繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返して聞く」.................................P60

■いつもと違う順番で聞きたい

CDの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」..............................P60

■早送りや早戻しがしたい

曲の早送りや早戻しの方法について説明しています

「早送り・早戻しする」...P60

＜MP3/WMAプレーヤーの使い方について＞

■MP3/WMAを聞きたい

MP3/WMAを再生する方法について説明しています。

「MP3/WMAを聞く」......................................P62

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

聞きたいフォルダや音楽ファイルを切り替える方法についてを説明しています。

「聞きたいフォルダを選ぶ」...............................P63
「聞きたい音楽ファイルを探す」..........................P63

■階層を戻りたい/今の階層がわからない

１つ上の階層を表示する方法や、再生中の階層を表示する方法を説明しています。

「１つ上の階層を表示する」...............................P63
「現在の階層を表示する」...................................P64

■聞きたい音楽ファイルを探したい

再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい音楽ファイルを探す」..........................P63

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい

いま聞いているフォルダを繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」................P64

■いつもと違う順番で聞きたい

再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「順番をランダムに聞く」....................................P64

■音楽ファイルの情報を表示したい

ディスプレイに表示される内容を切り替える方法について説明しています。

「音楽ファイル情報などを表示する」...................P65

■MP3/WMAについて知りたい

本機で再生できるMP3/WMAのデータ（規格）について説明しています。

「MP3/WMAについて」.....................................P66

■MP3/WMAファイルの作り方について

MP3/WMAファイルの一般的な作り方について説明しています。

「MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方」......P72

＜MDプレーヤーの使い方について＞

■MDを聞きたい

MDを再生する方法について説明しています。

「MDを聞く」...P74

■聞きたい曲を選びたい

次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」..P74

■聞きたい曲が何番目に入っているかわからない

全曲の始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」...P76

■いま聞いている曲を繰り返し再生したい

いま聞いている曲を繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返して聞く」..................................P75

■いつもと違う順番で聞きたい

MDの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」..............................P75

■早送りや早戻しがしたい

曲の早送りや早戻しの方法について説明しています。

「早送り・早戻しする」...P75

TVについて

＜TVの使い方について＞

■TVを見たい

TVを受信する方法について説明しています。

「TVを見る」...P79

■放送局を探したい

チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。

「見たいチャンネルを選ぶ」..................................P80

■放送局を記憶させたい

選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法について説明しています。

「チャンネルを記憶する」.....................................P80

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

TVの設定画面に切り替える方法について説明しています。

「TV設定画面の切り替え」...................................P82

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局やチャンネルを表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..................................P82

■今、聞いている音声を切り替えたい

主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」...............................P83

DVDビデオ／VTRに関して

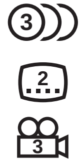
＜DVDプレーヤーの使い方について＞

■DVDビデオを見たい

DVDを再生する方法について説明しています。

「DVDを見る」..P90

■ディスクについて知りたい



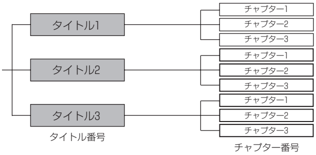
ディスクのマークや再生できるディスクの種類などについて説明しています。

●ディスクやパッケージに表示しているマークの意味が知りたい

「ディスクに表示されているマークについて」......P88

●再生できるディスクを知りたい

「再生できるディスクの種類について」.................P87



●ディスクの構成を知りたい

「ディスクの構成について」...................................P88

■ディスクに記憶されているメニューを操作したい

DVDに記録されているディスクメニューを切り替える方法について説明しています。

「ディスクメニューを操作する」...........................P92

■再生している映像を操作したい

映像を操作する方法について説明しています。

「映像を操作する」..P90

■映像を選びたい・探したい

チャプターやタイトル番号、チャプター番号などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「チャプターから探す」...P93

「タイトル番号から探す」.....................................P94

「チャプター番号から探す」.................................P94

■タッチスイッチの表示を切り替えたい

タッチスイッチの表示場所を切り替える方法について説明しています。

「タッチスイッチの表示場所を切り替える」.........P95

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

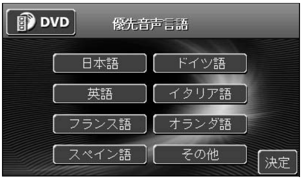
DVDに記録されている音声言語や字幕言語などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「アングルを切り替える」......................................P96

「字幕言語を切り替える」......................................P97

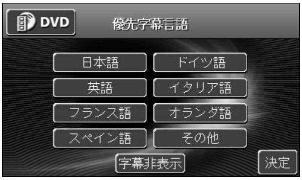
「音声言語を切り替える」......................................P98

■プレーヤーの設定について知りたい



DVDプレーヤーの設定を切り替える方法について説明しています。

「音声言語を設定する」......................................P100



「字幕言語を設定する」......................................P100

「メニュー言語を設定する」...............................P101

「マルチアングルマーク（アングル選択マーク）の表示を設定する」....P101

「視聴制限を設定する」......................................P102

「映像出力を切り替える」...................................P103

■VTRを使いたい

別売りのVTRアダプタで市販のVTR機器を接続したときの操作方法について説明しています。

「VTRの使い方」...P105

その他

＜わからなくてお困りのとき＞

■画面のメッセージがわからない

画面に表示されるメッセージの意味と、処置方法について説明しています。

「こんなメッセージが表示されたときは」..........P108

■故障かどうかわからない

本機が故障しているのかどうかわからないときに、症状と簡単な処置方法について説明しています。

「故障とお考えになる前に」...............................P110

MEMO

特長

さまざまな演奏会場を擬似的に再現するDSP機能（39 ページ）

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現し、楽しむことができます。

TV・DVD・VTR（オプション）画面の明るさや色などをお好みで調整（49 ページ）

TV・DVD・VTR（オプション）画面のコントラスト、明るさ、色合い、色の濃さなどお好みに合わせて画質が調整できます。

小音量時の低・高音不足を補正する、LOUDNESS機能（37 ページ）

オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音不足を補正して、メリハリのある音にすることができます。

アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生する MP3/WMA プレーヤー（62 ページ）

音楽データを約 1/10 サイズに圧縮できる MP3 圧縮技術。本機は MP3/WMA データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。また、MP3よりも高い圧縮率の WMA データを再生することもできます。

美しい映像と迫力あるサウンドが楽しめるDVDプレーヤー（90 ページ）

高画質・高音質で記録されたDVDビデオを再生します。

（DVDは、映画１本分に相当する高画質映像と、CD を上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。）

壁紙（画面の背景）をお好みに合わせて切り替え、表示（46 ページ）

情報画面やオーディオ操作画面の壁紙（背景）をお好みに合わせて切り替えて表示できます。

ナビゲーションの画面も連動して切り替わります。

●情報画面、オーディオ操作画面の壁紙設定

自分のいる地域のTV局を表示・選局（82 ページ）

現在地で放送されている TV 局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。

システムアップ

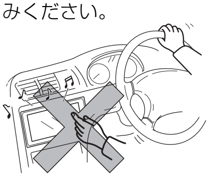
●VTR（105 ページ）

市販のVTR機器と接続すると、ビデオをご覧になることができます。

ご使用になる前に

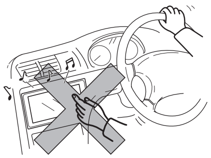
⚠注 意

走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



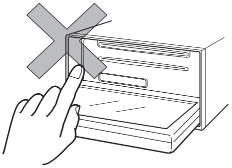
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



交通事故の原因となります。

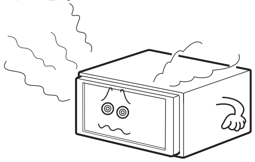
モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。

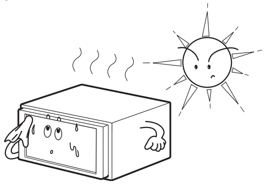
お願い

故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変な匂いがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



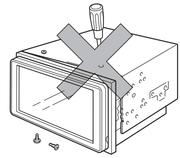
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



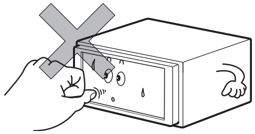
故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。



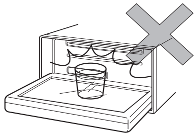
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



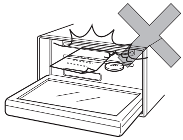
故障の原因となります。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。

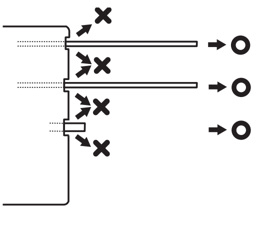


故障の原因となります。

差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。



故障の原因となります。



本機からディスクを取り出すときは、水平方向に引き出してください。
上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。
ディスクに傷がつき、音とびをしたり、破損するおそれがあります。

ディスプレイの後側に手などを絶対に入れないでください。

ケガをしたり、故障の原因となります。

ディスクについて

お願い

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります（結露現象）。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
●悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

●音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。

●Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●CD-R/RW（CD-Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。
またファイナライズ処理されていないCD-R/RWやUDFフォーマットで書込みされたCD-R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
●CD-TEXT 機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
●記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
●DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD±R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
●DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ対応しています。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込まれたディスクには対応していません。

ご使用になる前に

お願い

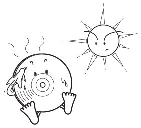
●スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。

●CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。

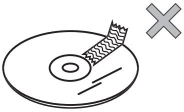
●CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
●Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。
●Video-CDは再生できません。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。

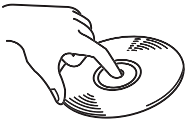


●記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



●ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。

●記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。

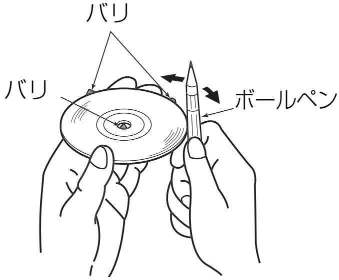


●汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

お願い

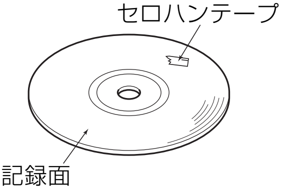
新しいディスクについて

●新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



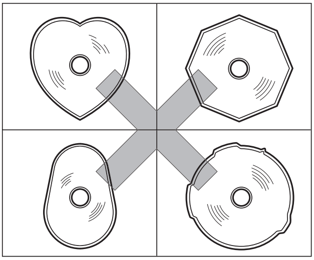
レンタルディスクについて

●ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



特殊形状のディスクについて

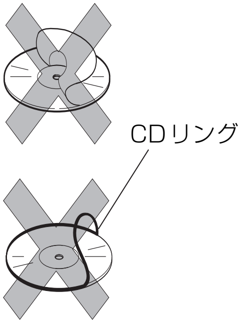
●ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリーについて

●音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

●音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CD リング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



ご使用になる前に

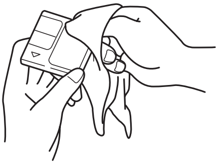
MDについて

お知らせ

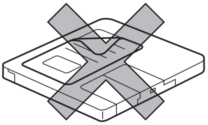
●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生じることがあります（結露現象）。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくのあいだ、換気または除湿してからご使用ください。
●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店に相談してください。

MDの取り扱いについて

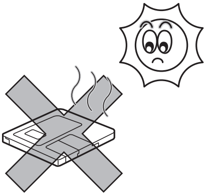
●いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



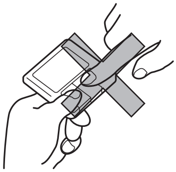
●ラベルがはがれていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



●直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。MDがそり、使用できなくなります。



●シャッターを手で開けたり、記録面に触れないように持ってください。MDが汚れ、音とびをすることがあります。



液晶パネルについて

お知らせ

●液晶パネルはななめ方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
●太陽の光などの外光が表示部に当たると画面が見えにくくなります。

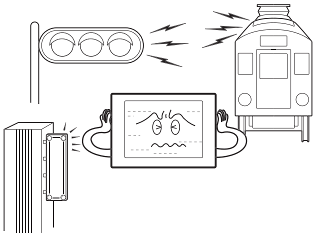
TVについて

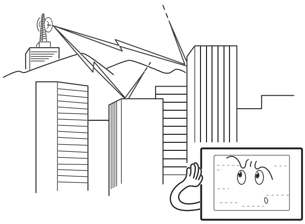
お知らせ

●本機のTVは、地上アナログ放送が受信できます。地上デジタル放送（78 ページ参照）には対応しておりません。
●バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶はすべて消去されます。

車載 TV の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

●電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
●電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
●ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
●トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
●放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
●一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。





ソースの切り替え方

エンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できます。

ソースを切り替える

【SOURCE】で切り替える

1 SOURCE を押して、各オーディオソースのタッチスイッチをタッチすると、オーディオのソースが切り替わります。

●ソースメニュー画面

2 CD にタッチします。

● SOURCE を押す前にナビゲーションの画面を表示していた場合は、選んだソースがオンスクリーン表示されます。

●オンスクリーン画面表示

ソーススイッチで切り替える

1 AUDIO表示 を押します。

●操作画面が表示されます。

2 CD にタッチします。

●ソーススイッチにタッチすると、ソースメニュー画面が表示され、オーディオのソースを切り替えることができます。（ソースメニュー画面で、◀ にタッチすると、操作画面が表示されます）

オーディオソーススイッチ

●操作画面

⇧
⇩

●ソースメニュー画面

お知らせ

オーディオの各ソースの操作画面は、35 ページのように表示されます。

各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面

●FM操作画面

●CDプレーヤー操作画面

●MP3／WMAプレーヤー操作画面

●MDプレーヤー操作画面

●TV操作画面

●DVDプレーヤー操作画面

●VTR操作画面（オプション）

音の調整

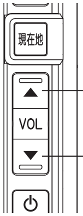
主音量の調整

1 VOLUMEスイッチを押します。

● 調整レベルは0～40です。

▲（上側）：音量UP（大きくなる）

▼（下側）：音量DOWN（小さくなる）



操作音の設定

パネルスイッチを押した時や、タッチスイッチにタッチした時の操作音を設定することができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 操作音設定の 1 ～ 4、または OFF にタッチします。

● タッチしたタッチスイッチが点灯します。

● OFF にタッチすると、操作音が解除（消音）されます。

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

●情報画面で表示されるスイッチの配置は、オプション機能の有無で変わる場合があります。
●安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
●オーディオモードを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるオーディオモードに合わせて調整してください。
●DVD プレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVD プレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
●DVD プレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のオーディオモードでは機能しません。DVD モードの前に使用していたオーディオモードで調整した音量レベルになります。
●操作音が設定できるのは、通常の"ピッ"音です。"ピーッ"の長い音や、"ピッピッ"の連続音は設定することができません。

小音量時の低・高音調整

オーディオを小音量で聞いているときなどの低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 LOUDNESSの ON 、または OFF にタッチします。

- タッチしたタッチスイッチが点灯します。

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

情報画面で表示されるスイッチの配置は、オプション機能の有無で変わる場合があります。

音質の調整

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。

本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質調整画面の表示

音質の調整には、各オーディオの操作画面から行うものと、情報画面から行うものがあります。

タッチスイッチ・項目	機　能	画面	ページ
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて、イメージに合った音場（演奏会場）を再現することができます。	操作画面	39
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	操作画面	40
POS	人数や乗車位置に合わせて音像定位を切り替えることができます。	操作画面	42
FAD／BAL	前後、左右の音量バランスを調整することができます。	操作画面	43
(Circle Surround Ⅱ)	センタースピーカーやサブウーファが接続されていなくても、低音の迫力感や音像の定位感を再現することができます。	操作画面	44
ハーモナイザー	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	情報画面	45

■操作画面からの表示

1 各オーディオ操作画面、または TV・VTR・DVD 設定画面で、音質調整のタッチスイッチにタッチします。

● TV・VTR 操作画面では **設定**、DVD 操作画面では **NEXT** → **設定** の順にタッチすると、音質調整のタッチスイッチが表示されます。

■情報画面からの表示

1 **情報** を押します。

2 **設定** にタッチします。

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現できます。

1 DSP にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

● ▲・▼ にタッチすると、レベルを11段階（-5～+5）に調整できます。

● 設定完了後、 戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。

タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
CLUB	ディスコ・クラブ
THEATER	映画館・劇場
OFF	DSP OFF

基本操作

音質の調整

EQ（イコライザ）の調整

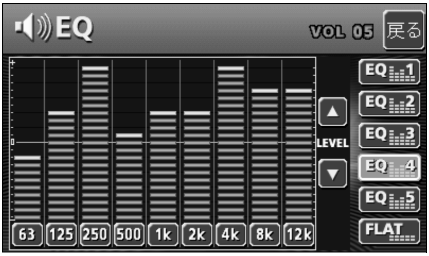
音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 EQ にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定された音質モードは記憶され、直前の画面に表示が戻ります。

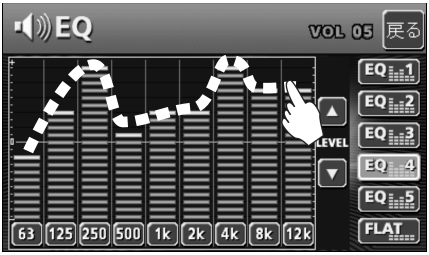


タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPSに効果のあるカーブ
EQ2	ROCKに効果のあるカーブ
EQ3	JAZZに効果のあるカーブ
EQ4	CLASSICに効果のあるカーブ
EQ5	VOCALに効果のあるカーブ

EQカーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶させることができます。

1 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面をタッチします。



2 微調整するときは、調整したい周波数選択スイッチにタッチします。

3 画面右の ▲・▼ にタッチして微調整します。

4 記憶したいタッチスイッチ EQ1 ～ EQ5 を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。

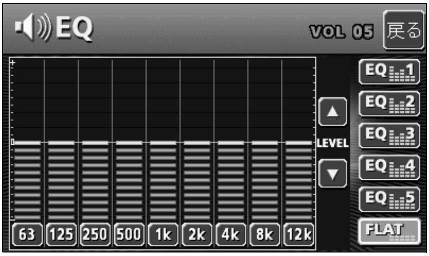
EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブやあらかじめ設定されているイコライザカーブを初期値に戻すことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

●イコライザカーブが初期値にリセットされます。



音質の調整

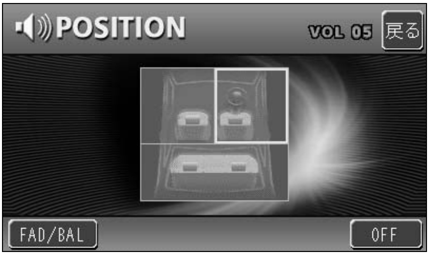
POS（ポジショニングセレクター）の調整

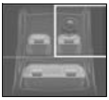
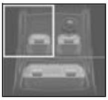
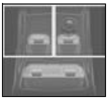
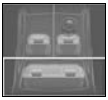
人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。
切り替えたポジション(位置)に対して前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 POS にタッチします。

2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは黄色の枠が表示されます。再度タッチすると設定は解除されます。表のような４つのポジションに設定できます。
- OFF にタッチすると、すべての設定は解除されます。
- 設定完了後、戻る にタッチしてください。設定されたポジションは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。



タッチスイッチ				
機能	運転席を中心にした音場	助手席を中心にした音場	前席を中心にした音場	後席を中心にした音場

お知らせ

- POS（ポジショニングセレクター）は、FAD / BAL（音量バランス）と同時に設定できません。
- 本機は右ハンドル車を基本としています。

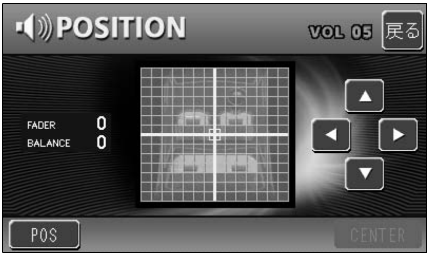
音量バランスの調整

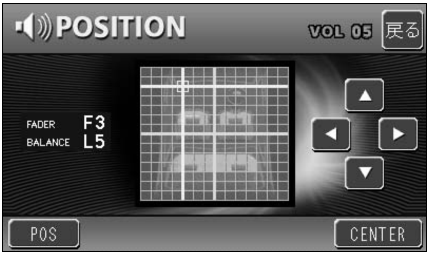
設定したポジション別に前後左右の音量バランスを調整することができます。

1 POS にタッチします。

2 FAD／BAL にタッチします。

3 お好みのバランスポイントにタッチします。





- 微調整するときは▲、▼、◀、▶ にタッチしてください。
- 調整レベルはF（フロント）側、R（リア）側、L（左）側、R（右）側各7段階です。
- 調整完了後、戻る にタッチすると調整は記憶され、直前の画面に戻ります。
- CENTER にタッチすると、音量バランスが中央に設定されます。
- 設定された音量バランスは記憶され、直前の操作画面に表示が戻ります。
- 再度ポジション設定を行いたいときは、POS にタッチして切り替えてください。

お知らせ

- FAD / BAL（音量バランス）は、POS（ポジショニングセレクター）と同時に設定できません。
- 微調整時に▲、▼、◀、または ▶ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合はロックするので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

音質の調整

CS Ⅱ（サークルサラウンドⅡ）の設定

サークルサラウンドⅡは、センタースピーカーやサブウーファが接続されていなくても、低音の迫力感や音像の定位感を再現する機能です。ラジオやテレビなどの音声にも適応します。ただし、AMラジオではサウンド効果が反映されません。

※Circle Surround ⅡとSRS、記号はSRS Labs, Inc.の商標です。

※Circle Surround Ⅱ技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

1 操作画面で OFF にタッチします。

● TV・VTR操作画面では 設定 、DVD操作画面では NEXT → 設定 の順にタッチすると音質調整のタッチスイッチが表示されます。

● タッチスイッチにタッチするごとに下記のように切り替わります

OFF → LOW → HI → OFF

● LOW ：再現効果が小さい。
HI ：再現効果が大きい。
OFF ：機能を解除します。

お知らせ

CS Ⅱ（サークルサラウンドⅡ）は、DSP（39 ページ）、EQ（40 ページ）、POS（42 ページ）と同時に設定できません。

MP3/WMA音質補正の設定（ハーモナイザー）

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 ハーモナイザーの LOW、または HI にタッチします。

● HI：補正効果が大きい
LOW：補正効果が小さい
OFF：補正しない

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

●情報画面で表示されるスイッチの配置は、オプション機能の有無で変わる場合があります。
●ハーモナイザー機能は、MP3 ／ WMA 音楽ディスクを再生しているときのみ効果があります。

壁紙の設定

オーディオ操作画面や情報画面、ナビゲーション画面の背景画をお好みの静止画に切り替えることができます。

壁紙の設定

壁紙を切り替える

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 壁紙の 1 ～ 5 のいずれかにタッチします。

●タッチしたタッチスイッチが点灯し、壁紙（背景画）が切り替わります。

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

情報画面で表示されるスイッチの配置は、オプション機能の有無で変わる場合があります。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV・DVD・VTR の画質を調整したり、情報画面を自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV・DVD・VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞
●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞

●昼画表示＜ライト消灯時＞

●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜TV・DVD・VTR画面＞

●昼画表示＜ライト消灯時＞

●夜画表示＜ライト点灯時＞

画面の調整・設定

1 オーディオモードの操作画面、またはTV･DVD･VTR画面で 画面 を押します。

2 調整が完了したら、調整完了 にタッチします。

- 画面 を押しても調整を完了することができます。
- 約20秒以上操作しなかったときは、調整完了し、元の画面に戻ります。

●オーディオ操作画面時

●TV・DVD・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 昼画面 にタッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

- 昼画面 のスイッチはライト点灯時に表示されます。

●オーディオ操作画面時

●TV・DVD・VTR画面時

画面を消すときは

1 画面消 にタッチします。

- 再度、画面を表示させるには、AUDIO表示 または 現在地 を押します。

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

●オーディオ操作画面時

●TV・DVD・VTR画面時

■コントラスト

1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ

1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

■色合い（TV・DVD・VTR画面時のみ）

1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■色の濃さ（TV・DVD・VTR画面時のみ）

1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

画面の調整・設定

優先画面の設定

情報画面を表示させて、約 20 秒以上操作しなかったとき、自動的に「解除する（もとの画面に戻る)」、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 情報 を押します。

2 設定 にタッチします。

3 自動解除 または 継続表示 にタッチします。

● 情報画面を継続して表示させるには 継続表示 にタッチしてください。

4 設定完了 にタッチします。

お知らせ

情報画面で表示されるスイッチの配置は、オプション機能の有無で変わる場合があります。

画面モード切り替え

1 TV･DVD･VTR操作画面で **設定** にタッチします。

2 **ワイドモード** にタッチします。

● TV操作画面のみ、**機能** → **ワイドモード** の順にタッチします。

● ワイドモード切り替え画面になります。

3 **標準**、**ワイド１**、**ワイド２**、または **ワイド３** にタッチします。

● ワイドモードを選択します。

■標準画モード

たて３：よこ４の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。

■ワイド１画モード

たて３：よこ４の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。

■ワイド２画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。

■ワイド３画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

● ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。

⚠注　意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方

ラジオを聞く

1 SOURCE を押します。

2 AM ラジオを受信するときは AM に、FMラジオを受信するときは FM にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 ▶▶|、または |◀◀ を押します。

● 押すごとに1ステップずつUP/DOWNします。（1ステップはAM：9 kHz 、FM：0.1MHzです）
▶▶|（上側）：周波数UP（高く）
|◀◀（下側）：周波数DOWN（低く）

自動で選ぶ

1 ▶▶|、または |◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

● 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

● 放送局の記憶は **「放送局を記憶する」** 53ページを参照してください。

お知らせ

受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

放送局を記憶する

放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）と AUTO.P（自動）の 2 つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面の上部に表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは 機能 にタッチし、AUTO.P、または エリア をタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 機能 にタッチします。

2 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P　が表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、AUTO.P にタッチすると、元の記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

ラジオ

次ページに続く

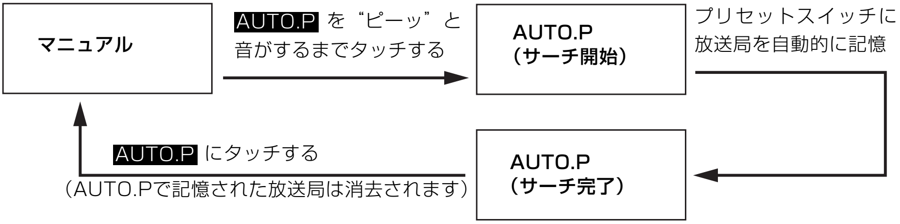
ラジオの使い方

■AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。(このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます)

AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



お知らせ

●受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
●同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
●AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
●受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
●受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 機能 にタッチします。

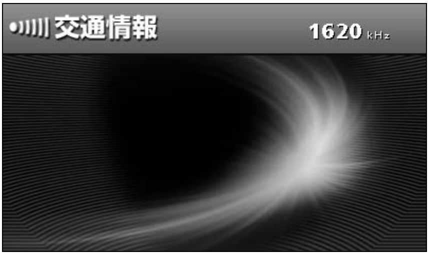
2 エリア にタッチします。

● “AREA.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
● 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
● もう一度 エリア にタッチすると、マニュアル設定に戻ります。

交通情報を受信する

1 ·ıı))) を押します。

● あらかじめセットされている交通情報局（1620kHz）を受信します。
● もう一度 ·ıı))) を押すと交通情報画面は解除されます。



周波数を記憶させる

1 AM にタッチします。

2 通常の選局または自動選局で記憶させたい周波数を選びます。

3 ·ıı))) を“ピーッ”と音がするまで押します。

お知らせ

●交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。
●初期設定値は「1620kHz」に設定されています。
●バッテリーなどを交換したときは1620kHzに戻ります。

ラジオ

ラジオの使い方

局名スイッチについて

ラジオを受信したとき、同じ周波数で放送局名が重複している地域で表示されます。

1 機能 にタッチします。

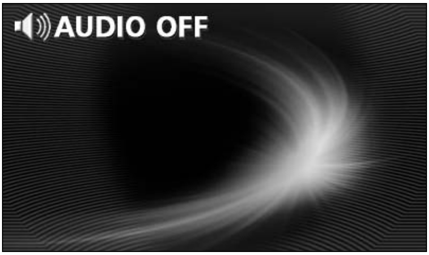
2 局名 にタッチします。

● 重複した放送局名が切り替わります。
● 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

ラジオを止める

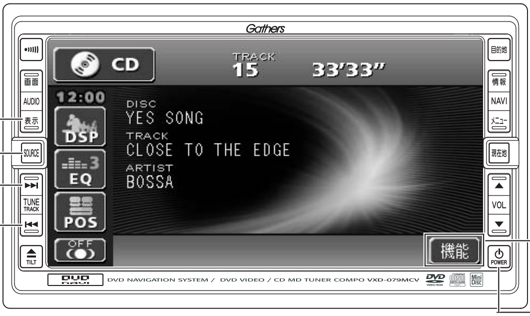
1 ⏻ を押します。

● もう一度押すと、ラジオを止める前の受信放送局（周波数）が再受信されます。



MEMO

CD プレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口に CD を差し込むと再生を始めます。

1 CDが差し込まれてるときに SOURCE を押します。

2 CD にタッチします。

● 再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ▶▶|、または |◀◀ を押します。

● ▶▶| （上側）：次曲を選ぶとき
|◀◀ （下側）：頭出し・前曲を選ぶとき

お知らせ

●CD-EXTRA は音楽CDとして再生することができます。
●Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。
●ビデオCDは再生することができません。
●CD-R/RWの記録状態により再生できない場合があります。
●CD-R/RWなどで、音楽データと音楽データ以外のデータが同一ディスク内に混在すると、正しく再生できない場合があります。
●CDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大32 文字、全角文字では最大16 文字まで表示できます。
CD-TEXT表示は、収録タイトル文字数の多いディスクでは表示できない文字があります。

〈CDの構造例〉

◎
├ CD-DA（音楽データ）………… 第1セッション〈再生可〉
├ CD-DA（音楽データ）………… 第2セッション〈再生不可〉
├ MP3 ………………………………… 第3セッション〈再生不可〉
├ MP3 ………………………………… 第4セッション〈再生不可〉

第１セッションに書き込まれたCD-DA（音楽データ）のみ再生できます。
MP3ファイルは再生時間のカウントは行いますが、音声は再生できません。

CDプレーヤーの使い方

早送り･早戻しする

いま聞いている曲を早送り･早戻しすることができます。

1 ▶▶|、または |◀◀ を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

- ▶▶|（上側）：曲を進めるとき
  |◀◀（下側）：曲を戻すとき
  “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

同じ曲を繰り返して聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
- 同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望の曲になったら、もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

CDを止める

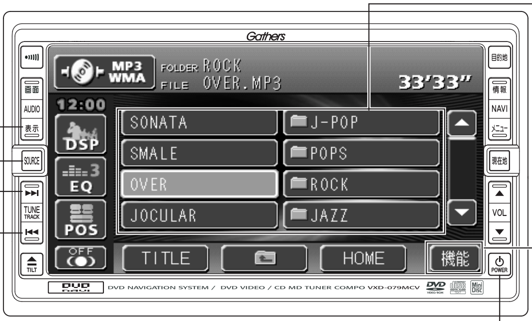
1 ⏻ を押します。

● もう一度押すと再生が再開されます。

お知らせ

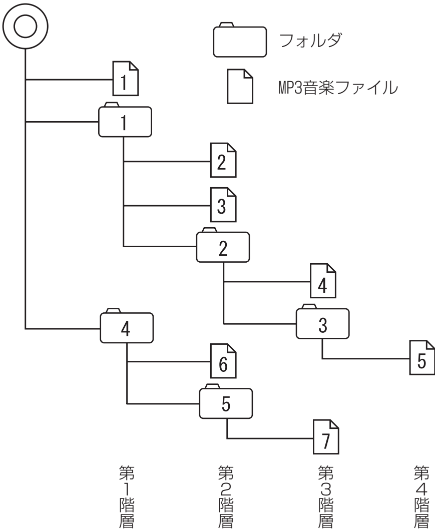
エンジンスイッチをACC ONからACC OFFにしても「SCAN」は解除できます。

MP3/WMA プレーヤーの使い方



ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例を元に説明しています。

<MP3/WMAファイル作成例>



MP3/WMAを聞く

ディスク差し込み口に MP3/WMA ファイルが記録されたCD-R（RW）を差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

1 CD-R（RW）が差し込まれているときに SOURCE を押します。

2 MP3/WMA にタッチします。

- 再生を始めます。
- CD を差し込むと、差し込まれた CD が音楽CD か MP3/WMA かをチェックするため、再生までに時間がかかる場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に再生します。

お知らせ

- CD にフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは表示することができます。音楽フォルダ名は半角文字で最大 12 文字、ファイル名は半角文字で最大 14 文字まで表示できます。
- CD-R/RWの記録状態により再生できない場合があります。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ（ ）にタッチします。

● 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを探す

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

ファイル切り替えスイッチから選ぶ

1 音楽ファイルのスイッチにタッチします。

● 音楽ファイルのスイッチが明るくなり、再生が始まります。また、表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。

● 同じフォルダ内に音楽ファイルが９個以上ある場合は、▲・▼ にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。
（走行中は操作できません）

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 ▶▶|、または |◀◀ を押します。

● ▶▶|（上側）：
次の音楽ファイルを選ぶとき
|◀◀（下側）：
頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り·早戻しすることができます。

1 ▶▶|、または |◀◀ を押し続けます。

● ▶▶|（上側）：曲を進めるとき
|◀◀（下側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

１つ上の階層を表示する

再生している階層よりも １ つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 にタッチします。

表示している １ つ上の階層のフォルダ、ファイルを画面に表示します。

MP3/WMA

お知らせ

MP3/WMAファイル作成例については62 ページを参照してください。
画面に “2”、“3”、“2” の第２階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に にタッチすると、“1”、“1”、“4” の第１階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

現在の階層を表示する

1 HOME にタッチします。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 再生中のファイルがあるフォルダを含んだ階層内の全ファイルの中から任意にファイルを選び出し再生します。
- RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 RAND にタッチすると解除されます。
- 同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

アドバイス

MP3/WMAファイル作成例については62 ページを参照してください。
第３階層の 4 を再生中、画面に“2”、“3”、“2”の第２階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに HOME にタッチすると、“4”、“3”の第 3 階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。再度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

音楽ファイル情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

● ファイルの情報を表示中は、TITLE が TITLE OFF に切り替わり、TITLE OFF にタッチするとフォルダ / ファイル切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MP3/WMA を止める

1 ⏻ を押します。

● もう一度押すと再生が再開されます。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMAについて

本機で使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

MP3エンコーダソフト名			適合
名称	バージョン	メーカ	
MP3 JUKEBOX6	Ver 6.00.2097SMI	キャノンシステムソリューションズ	○
MP3 JUKEBOX7	Ver 7.10.4067SMI	キャノンシステムソリューションズ	○
Audio TOYBOX	Ver 1.10	Landport	○
MP3 StudioUnreal2	Ver 2.31	Landport	○
MP3 real juke Box2	Ver 1.0.2.264	ASCII	○
MP3 Audio Magic	Ver 1.12	TDK	○
MP3 Audio Magic Professional	Ver 4.0	TDK	○
DVD/MP3 Jet-Audio	Ver 4.95DVD	NOVAC	○
MAGIX MP3!	Ver 3.06	プロトンソフトボード事業部	○
BeatJAM X-treme	-	ジャストシステム	○
BeatJAM XX-treme	-	ジャストシステム	○

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格　：MPEG Audio レイヤ3（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ）
●サンプリング周波数（kHz）：44.1、48
●固定ビットレート（kbps）：64～320
※フリーフォーマットには対応していません。
※MPEG1、2でビットレートが異なります。
●対応チャンネルモード　：ステレオ、モノラル、デュアル、ジョイント

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格　　：WMA Ver.7、8、9
- サンプリング周波数（kHz）：44.1、48
- 固定ビットレート（kbps）：48～160 （kbps）

※VBRに対応しています。（48～160 kbps）
※可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
※サンプリング周波数と対応ビットレートの組み合わせについては、下記の表を参照してください。

サンプリング周波数 ＼ ビットレート（bps）	48k	44.1k
160k	○	○
128k	○	○
96k	×	○
64k	×	○
48k	×	○
VBR	○	○

○：再生可
×：再生不可

※ 最大160kbps。

ID3タグ/WMAタグについて

本機はID3v.1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。（Ver 2.xには対応していません。）日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

WMA ファイルには、WMA タグ（v1.20.02 に対応）と呼ばれる付属文字情報を入力することができます。ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができ、WMAタグ情報を表示することができます。

使用できるメディアについて

MP3の再生に使用できるメディアはCD-ROMおよびCD-R/RWです。

なお、CD-R/RW は通常の音楽 CD に使用されている CD-ROM に比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R/RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できない場合や音とびする場合があります。

一部のCD-R/RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R/RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

● ディスクフォーマット：CD-ROM（MODE1）、CD-ROM XA（MODE2 Form1）
● ファイルフォーマット：ISO9660レベル1、レベル2（日本語不可8.3形式）
ROMEO形式、JOLIET形式

日本語を含むフォルダ名／ファイル名を使用することもできますが、この場合は Romeo形式またはJOLIET形式（日本語可）で書き込まないと文字化けします。

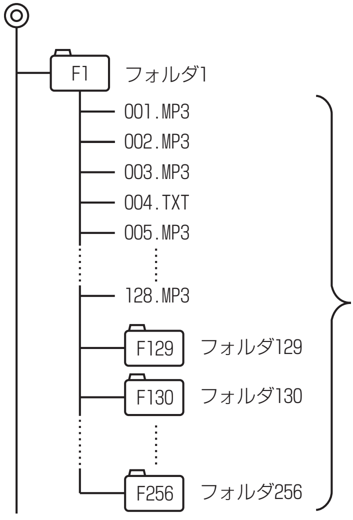
また、この場合は特に下記制限に注意してください。

上記フォーマット以外で書き込まれた MP3/WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

● 最大ディレクトリ階層：8階層
● 最大フォルダ名／ファイル名文字数：MP3時は半角30文字、全角15文字
WMA時は半角15文字、全角15文字
● フォルダ名／ファイル名使用可能文字：ISO9660表示可能文字.........A～Z、0～9、_（アンダースコア）
：拡張フォーマット表示可能文字....英数字、日本語（漢字第二水準程度）

＜MP3/WMA対応CDの構造例＞



最大フォルダ数：128個
最大ファイル数：256個
1つのCD-Rに格納できるフォルダとファイルの総数が256個です。
＜例＞
・「フォルダ数：128個」＋「ファイル数：128個」＝256個
・「フォルダ数：64個」＋「ファイル数：192個」＝256個
・「フォルダ数：28個」＋「ファイル数：228個」＝256個

● 一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数：256個

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子".MP3/WMA"が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、"MP3/WMA" の拡張子を付けて保存してください。

CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3を追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。（消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。）
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。（例えば、DirectCDなどで作成したディスクには対応していません。）
- CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、"CDを閉じる"や"CDの終了処理をする"ようにしてください。（設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。）

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追記したCD-R/RWの再生が可能です。ただし、"Track at once" で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ディスクを差し込んでから約10秒以内にチェックが終わりますと最初のMP3/WMAファイルを再生します。約10秒以内にチェックが終わらなかった場合は、いままで聞いていた音楽やTVなどを引き続き再生しますが、**MP3/WMA** にタッチすることによりMP3/WMAファイルを再生させることができます。

なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。

ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

また、マルチセッションディスクは CD の管理情報取得に時間がかかりますのでシングルセッションで書き込むことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にある MP3/WMA ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3/WMA ファイルを数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に表示

⚠ 注　意

MP3/WMA 以外のファイルに"MP3/WMA"の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに、"MP3/WMA"の拡張子を付けないでください。

MP3/WMA ファイルの再生順番

MP3/WMA ファイルを再生する順番は次の通りです。

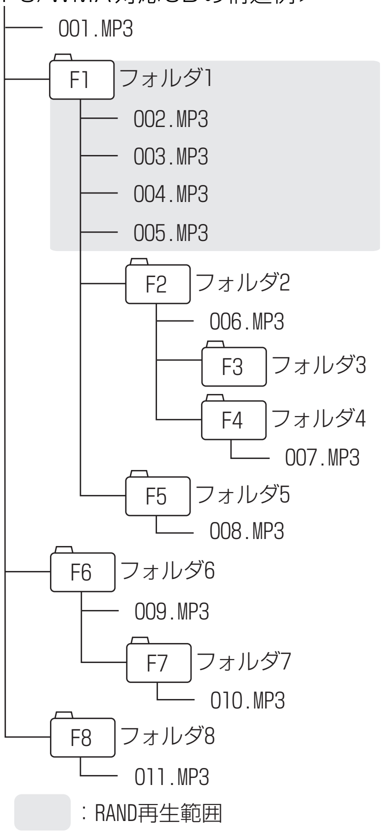
● 通常の再生時
ディスク内に書き込まれている MP3/WMA ファイルを再生します (* 1)。
（例）「001.MP3」→「002.MP3」→「003.MP3」→「004.MP3」→「005.MP3」→ … →「011.MP3」→「001.MP3」→ …

●「002.MP3」を再生中に **SCAN** にタッチしたとき
「002.MP3」のある階層のMP3/WMA ファイルの SCAN 再生を開始します (* 2)。
（例）「003.MP3」→「004.MP3」→「005.MP3」→ SCAN停止→ 通常の再生に戻り「002.MP3」を再生

●「002.MP3」を再生中に **RAND** にタッチしたとき
「002.MP3」のある階層のMP3/WMA ファイルのRAND再生を開始します。
（例）「004.MP3」→「002.MP3」→「005.MP3」→「003.MP3」→「002.MP3」→ …
右図のアミのかかった範囲内でRAND再生します。

● MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初に「001.MP3」のMP3/WMAファイルを再生します。

＜MP3/WMA対応CDの構造例＞



(* 1)：同一階層に複数の MP3/WMA ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に選び再生します。

(* 2)：同一階層に複数の MP3/WMA ファイルが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に選び再生します。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、さまざまなMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。

CD-R/RWに書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されている CD-R/RW ドライブを介して CD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマット含まず）という記録フォーマットに設定して書き込みます。

ディスクフォーマットはCD-ROM（MODE1）、CD-ROM XA（MODE2 Form1）を選択してください。

CD-R/RWを再生する場合

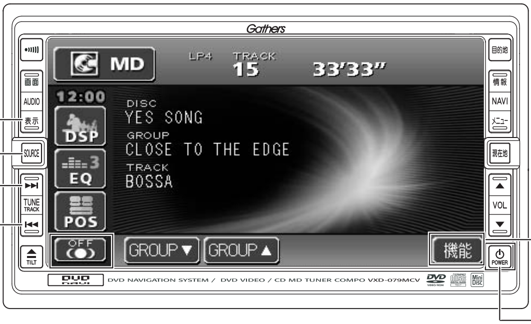
MP3/WMAファイルが記録されたCD-R/RWを差し込みます。自動的に音楽CDかMP3/WMAファイルのCD-R/RWかを認識して再生します。また、CD-R/RWに記録した音楽CDも再生できます。ただし、ディスクの種類によって、再生できない場合もあります。

お知らせ

- ●安定した音質で再生するために、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- ●フリーフォーマットには対応していません。
- ●CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ●MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコードソフトが存在し、エンコードの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ●ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- ●走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。

MEMO

MD プレーヤーの使い方



MDを聞く

MD 差し込み口に MD を差し込むと自動的に再生を始めます。

1 MDが差し込まれてるときに SOURCE を押します。

2 MD にタッチします。

● 再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ▶▶|、または |◀◀ を押します。

● ▶▶|（上側）：次曲を選ぶとき
|◀◀（下側）：頭出し・前曲を選ぶとき

お知らせ

●MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は、半角文字で最大32文字、全角文字で最大16文字まで表示できます。
●MDLP方式で記録されたMDは録音の状態によって、"LP4（4倍モード）"、"LP2（2倍モード）"を表示します。また、グループを設定している場合はグループ切り替えスイッチ（GROUP▲ ・ GROUP▼）を表示します。
●MDの種類によっては、グループの設定をおこなってもグループとして認識しない場合があります。

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 ▶▶|、または |◀◀ を押し続けます。

● ▶▶| （上側）：曲を進めるとき
|◀◀ （下側）：曲を戻すとき
早送り（早戻し）は、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

同じ曲を繰り返して聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。再度 RPT にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

● RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。再度 RAND にタッチすると解除されます。
● 同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MD

MD プレーヤーの使い方

聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、再度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいグループを探す

グループ編集されている MD の場合、グループを切り替えて曲を探すことができます。

1 GROUP ▲ または GROUP ▼ にタッチします。

● GROUP ▲: 次のグループを選ぶとき
GROUP ▼: 前のグループを選ぶとき
探したい曲が、いま聞いている曲のグループの次にあるときは GROUP ▲ をタッチし、前にあるときは GROUP ▼ をタッチします。また、表示部にいま選ばれているグループが表示されます。

MDを止める

1 ⏻ を押します。

● もう一度押すと再生が再開されます。

お知らせ

エンジンスイッチをACC ONからACC OFFにしても、「SCAN」は解除できます。

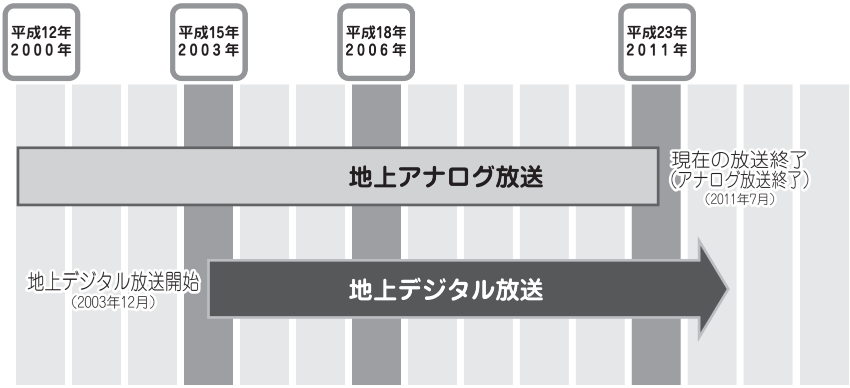
MEMO

TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が0km/h）した状態の場合のみ、TVをご覧になることができます。（走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります）

お知らせ

●本機の TV は地上アナログ放送の受信ができます。地上デジタル放送の受信はできません。
<地上デジタル放送とは>
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



お知らせ

地上デジタル放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域において UHF放送のチャンネル変更が行われています。
そのため、地上アナログ放送を受信する場合、以下の現象が起こる可能性があります。

・今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
・今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る。
また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。
・チャンネルと放送局名が一致しない。
・プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
・プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。
このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。
これらの場合は、AUTO.Pスイッチ・選局スイッチ（80 ページ参照）でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

TVを見る

1 SOURCE を押します。

2 TV にタッチします。

● TV画面になります。
● AUDIO表示 を押す、または画面にタッチすると、TV操作画面になります。

お知らせ

●TV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
AUDIO表示 を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
●TV画面を表示中に画面をタッチしても、TV操作画面が表示されます。
●リア席モニター（オプション）を接続すると、走行中でも後席で TV を見ることができます。

TVの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

1 ⏭、⏮ を押す 、または ▲、▼ にタッチします。

● 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。

⏭ ▲ （上側）:
チャンネルUP（大きくなる）

⏮ ▼ （下側）:
チャンネルDOWN（小さくなる）

自動で選ぶ

1 ⏭、⏮ を“ピッ”と音がするまで押す、または ▲、▼ に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。

● 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。

● 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

● チャンネルの記憶方法は**「チャンネルを記憶する」**を参照してください。

2 決定 にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面の上部に表示されていないことを確認します。

● “AUTO.P”が表示されているときは AUTO.P にタッチし、“AREA.P”が表示されているときは 機能 にタッチし、エリア （82 ページ参照）にタッチすると、AUTO.PまたはAREA.Pからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● AUTO.P　が表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。再度、AUTO.P にタッチすると、元の記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

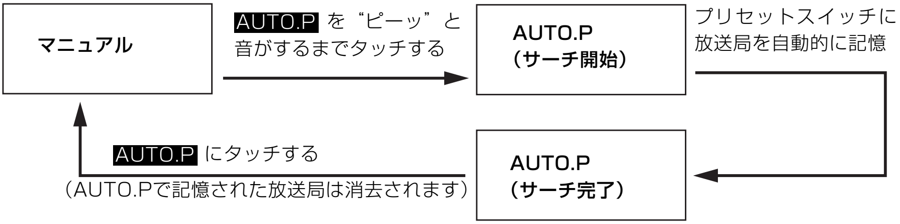
2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

■AUTO.Pについて

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。(このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます)

AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



お知らせ

- ●受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- ●同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- ●AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- ●受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- ●受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TVの使い方

TV設定画面の切り替え

TV モードでは、TV 設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
  - ・エリアプリセット
  - ・局名スイッチ
  - ・音声多重放送の切り替え
  - ・画面モード（ワイドモード）の切り替え
- 音質・音量バランスの調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 設定 にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などを行うことができます。
- 戻る にタッチすると TV 操作画面に戻ります。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 機能 にタッチします。

2 エリア にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチをタッチします。
- もう一度 エリア にタッチすると、元の画面に戻ります。

局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルで放送局名が重複している地域で表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

●放送局名を選択します。

音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **主/副** をタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主・副音声 MAIN・SUB

TV

お知らせ

●放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

●2ヶ国語放送を受信したときは、 二 が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

TVの使い方

TVモードを終わる

1 ⏻ を押します。

- もう一度 ⏻ を押すとTVモードを終わる前の受信放送局（チャンネル）が再受信されます。
- SOURCE を押して、TV にタッチすると、受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。

MEMO

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

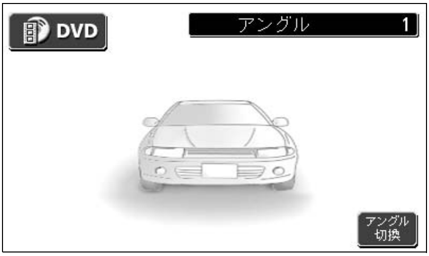
DVD ディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TV の音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。

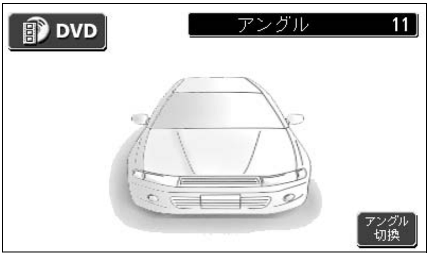
街の中心を流れるこの川は・・・

This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVD ディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。
※ディスクによっては複数のアングルが収録されていない場合もあります。





映像のアングルが切り替わります。

⚠注　意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。

ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

ディスクの詳細については、**「使用できるディスクについて」**29 ページを参照してください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ		最大再生時間
DVD VIDEO	12cm	1層 2層	＜Mpeg 2方式＞ 133分 242分
DVD VIDEO	12cm	1層 2層	266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには 2（地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

お知らせ

DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

DVD プレーヤーをお使いになる前に

ディスクに表示されているマークについて

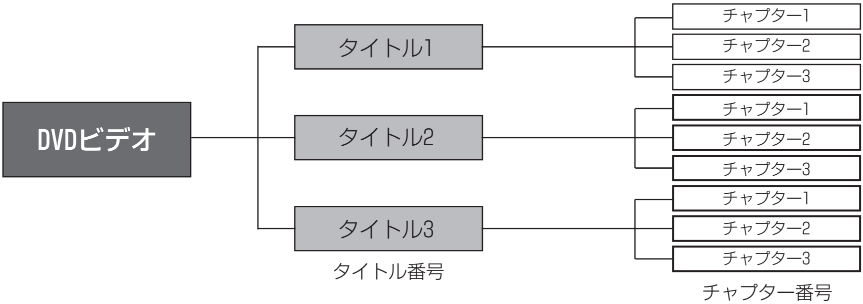
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク		意　味
		音声のトラック数を表します。
		字幕の数を表します。
		アングル数を表します。
		選択可能な画像アスペクト比（テレビ画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
		再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

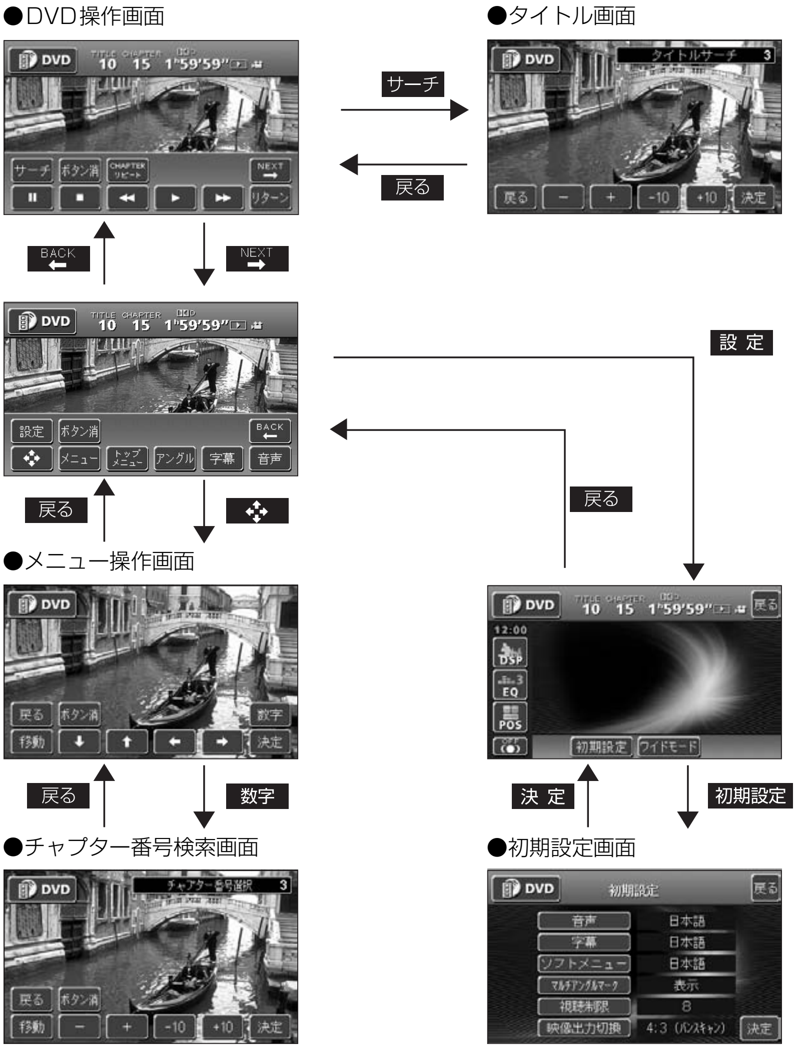
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。

● タッチスイッチにタッチすると、下記の操作画面に切り替わります。



DVD プレーヤーの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が0km/h）した状態の場合のみ、DVDをご覧になることができます。（走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります）

DVDを見る

DVD差し込み口にDVDを差し込むと、自動的に再生を始めます。

1 DVDが差し込まれているときに SOURCE を押します。

2 DVD にタッチします。

● 再生を始めます。

● 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は、AUDIO表示 を押す、または画面にタッチします。

映像を操作する

映像を再生する

1 ▶ にタッチします。

お知らせ

●タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。AUDIO表示 を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

●ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニューを選択しないと、再生されないものがあります。**「ディスクメニューを操作する」** 92 ページを参照してください。

●リア席モニター（オプション）を接続すると、走行中でも後席でDVDを見ることができます。

早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻しする

1 ▶▶|、または |◀◀ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ▶▶| （上側）：映像を進めるとき
　|◀◀ （下側）：映像を戻すとき

● “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

1 ◀◀、または ▶▶ を“ピッ”と音がするまで押します。

● “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

チャプターを繰り返し再生する

1 CHAPTERリピート にタッチします。

● 再生中のチャプターを繰り返し再生します。

映像を一時止める

1 ❚❚ にタッチします。

● 一時停止中（ ❚❚ ）、▶▶ に短くタッチするとスロー再生、❚❚ にタッチするとコマ送り再生します。

映像を止める

1 ■ にタッチします。

DVD/VTR

お知らせ

リターン にタッチすると、ディスクの指定された位置に移動し再生します。

DVDプレーヤーの使い方

ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

ダイレクトタッチ操作画面から選ぶ

ディスクを差し込んだときに、ディスクメニューが表示される場合は、メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

1 メニューのアイコンにタッチします。

タッチスイッチから選ぶ

ディスクを差し込んだときに、ディスクメニューが表示されない場合は、次の方法でディスクメニューを表示させることができます。

1 DVD 操作画面で NEXT にタッチします。

2 メニュー または トップメニュー にタッチします。

3 ✥ にタッチします。

● ダイレクト にタッチするとダイレクトタッチ操作をすることができます。

4 ↓ ↑ ← → にタッチし、再生したい映像を選びます。

● ダイレクト にタッチするとダイレクトタッチ操作をすることができます。

5 決定 にタッチします。

お知らせ

- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。
- ディスクによって、表示されるメニューをダイレクト操作画面から操作できない場合があります。
- ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

DVDを止める

1 ⏻ を押します。

● もう一度 ⏻ を押すと再生が再開されます。

● SOURCE を押して、DVD にタッチすると、再生を始めます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 ▶▶|、または |◀◀ を押します。

● ▶▶|（上側）：次のチャプターを選ぶとき
|◀◀（下側）：前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号

次ページに続く

DVDプレーヤーの使い方

タイトル番号から探す

1 DVD操作画面で **サーチ** にタッチします。

● タイトル番号入力画面が表示されます。

タイトル番号

2 **－**、**＋**、**－10**、**＋10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

● **－**、または **＋** にタッチすると、タイトル番号が１ずつ切り替わります。

● **－10**、または **＋10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

3 **決定** にタッチします。

チャプター番号から探す

1 DVD 操作画面で **NEXT →** にタッチします。

2 **✥** にタッチします。

3 **数字** にタッチします。

● チャプター番号入力画面が表示されます。

4 **－**、**＋**、**－10**、**＋10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **－**、または **＋** にタッチすると、タイトル番号が１ずつ切り替わります。
- **－10**、または **＋10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

5 **決定** にタッチします。

タッチスイッチの表示場所を切り替える

タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1 DVD操作画面で **ボタン消** にタッチします。

- **AUDIO表示** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。

タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 DVD 操作画面で **NEXT** にタッチします。

2 **✣** にタッチします。

3 **移動** にタッチします。

- タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。

DVD/VTR

DVDプレーヤーの使い方

画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1 DVD操作画面で NEXT にタッチします。

2 マルチアングルマークが表示されているときに アングル にタッチします。

● アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク

● マルチアングルマークは、DVD再生画面でも表示されます。

マルチアングルマーク

3 アングル切換 にタッチします。

● アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号

お知らせ

● アングル切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。
● マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると（101 ページ）、DVD ビデオ再生時（フルスクリーン中でも）、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 DVD操作画面で NEXT にタッチします。

2 字幕 にタッチします。

●字幕番号および言語が表示されます。

3 字幕切換 にタッチします。

●字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語

お知らせ

●字幕切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
●字幕切換は、ディスクによりトップメニューでしか切り替わらない場合があります。

DVD プレーヤーの使い方

音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 DVD 操作画面で NEXT にタッチします。

2 音声 にタッチします。

● 音声番号および言語が表示されます。

3 音声切換 にタッチします。

● 音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語

お知らせ

● 音声切換 にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。

音声 1 → 音声 2 → 音声…（→ 音声 1 に戻る）

● 音声切換は、ディスクによりトップメニューでしか切り替わらない場合があります。

DVDプレーヤーの設定

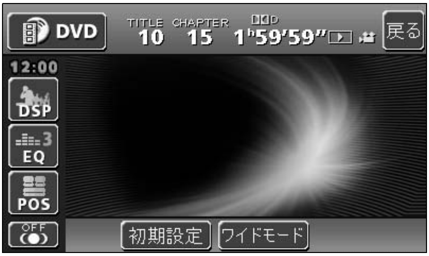
再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 DVD操作画面で NEXT にタッチします。

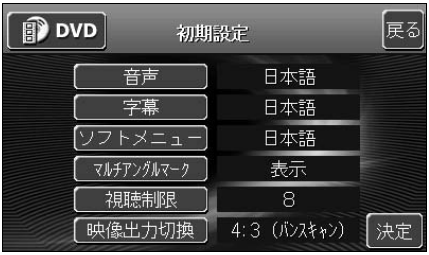
2 設定 にタッチします。

3 初期設定 にタッチします。

●初期設定画面が表示されます。



4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機　能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	100
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	100
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	101
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示･非表示を設定します。	101
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	102
映像出力切換	画面サイズを設定します。	103

お知らせ

初期設定画面で設定を変更した後、決定 にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ（ AUDIO表示 、SOURCE ）を押すとDVDの再生は停止した状態になります。再度再生する場合は映像操作画面で ▶ にタッチします。（90 ページ参照）

DVD プレーヤーの使い方

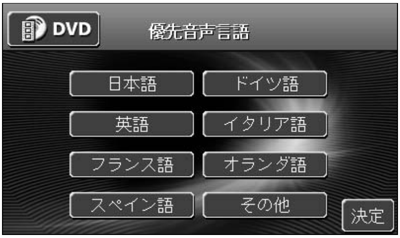
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては **「言語コード一覧」** 104 ページを参照してください。

3 **決定** にタッチします。

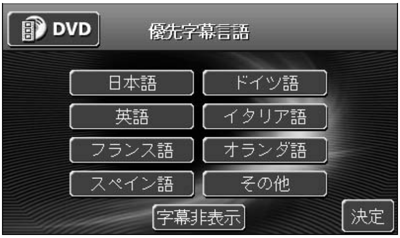
字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。
- **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては **「言語コード一覧」** 104 ページを参照してください。

3 **決定** にタッチします。

お知らせ

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- 優先言語を設定しても、ディスクにより有効にならない場合があります。

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**104 ページを参照してください。

3 **決定** にタッチします。

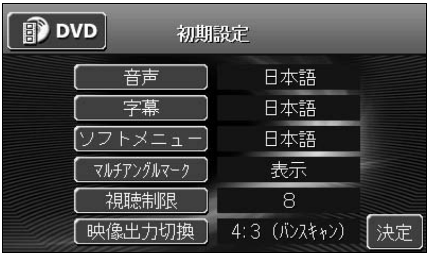
マルチアングルマーク(アングル選択マーク)の表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

1 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。

● タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。

2 **決定** にタッチします。



お知らせ

● 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
● マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

DVDプレーヤーの使い方

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。

5 **決定** にタッチします。

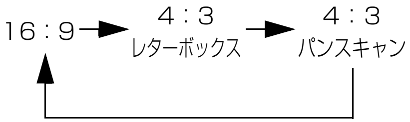
お知らせ

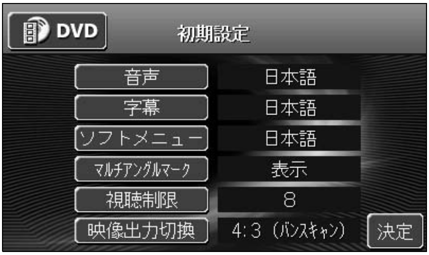
- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「－－－－」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく３種類に分類されます。
  レベル１　……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）
  レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します）
  レベル8　……すべてのDVDソフトを再生します（初期設定）。

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

● タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。





2 **決定** にタッチします。

●「16：9」
通常のワイドサイズで表示されます。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

●「4：3〔レターボックス〕」
上下両端が黒く表示された映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

●「4：3〔パンスキャン〕」
左右両端がカットされた映像になります。
4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

DVD/VTR

お知らせ

リア席モニター（オプション）などの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で映像出力を切り替えてもリア席モニター（オプション）で表示される画面のサイズは切り替わりません。

⚠注　意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。

DVDプレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ポラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止（車両速度が 0km/h）した状態の場合のみ、ビデオをご覧になることができます。（走行中に VTR モードを選択した場合、音声のみになります）VTR 機器を接続する場合は、販売店で「VTR コード」をお買い求めください。

VTRを見る

1 SOURCE を押します。

2 VTR にタッチします。

● VTR画面になります。

● AUDIO表示 を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTR設定画面の切り替え

VTRモードでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

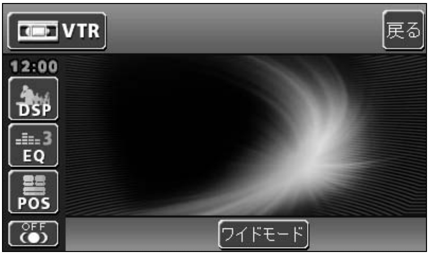
● 音質・音量バランスの調整

● 画面モード（ワイドモード）の切り替え

1 設定 を押します。

● 音質・音量のバランスや画面モードの切り替え操作などを行うことができます。

● 戻る にタッチすると VTR 操作画面に戻ります。



VTRの使い方

VTRモードを終わる

1 ⏻ を押します。

● もう一度 ⏻ を押すと再生が再開されます。

● SOURCE を押して、VTR にタッチすると、電源を切る前の映像が再生されます。

お知らせ

●VTR操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
AUDIO表示 を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
●VTRを表示中に画面をタッチしても、VTR操作画面が表示されます。
●接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。
●リア席モニター（オプション）を接続すると、走行中でも後席で VTR を見ることができます。

MEMO

DVD/VTR

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD・MDをお確かめください。	CD・MD が汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
CD・MDが入っていません。	CD・MD プレーヤーにディスクが入ってないため。	音楽CD･MDを入れてください。
異常検知でCD停止中です。※1	なんらかの原因でCDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
異常検知でDVD停止中です。※1	なんらかの原因で DVD プレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
異常検知でMD停止中です。※1	なんらかの原因でMDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
高温のためCD停止中です。※2	CDプレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
高温のためDVD停止中です。※2	DVD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
高温のためMD停止中です。※2	MD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
ディスクが入っていません。	DVDプレーヤーにディスクが入っていない（または裏返しになっている）場合に表示されます。	DVD ディスクをそれぞれの差し込み口に入れてください。DVD ディスクが裏返しのときは正しく入れてください。
現在ご利用になれません。	DVD のメニューなどで操作できないものを選んだときに表示されます。	画面の表示にしたがって操作してください。
受け付けないコードです。	DVD に対応していない言語コードを選んだ場合などに表示されます。	DVD に対応している正しい言語コードを設定してください。
コード番号が正しくありません。	DVD 視聴制限の暗証番号の入力が正しくない場合に表示されます。	正しい暗証番号を入力してください。
このDVDはリージョンが違うので再生できません。	DVD ディスクに記録されている地域識別用のコードが、プレーヤーとディスク双方で一致しない場合に表示されます。	正しい ＤＶＤ ディスクをお使いください。
指定されたタイトル、チャプタはありません。	DVD ディスクに記録されていないタイトル、チャプタを選択したときに表示されます。	DVD ディスクに記録されているタイトル、チャプタを選択してください。
視聴制限がかかっており再生できません。	DVD プレーヤーの設定で視聴制限がかかっています。	視聴制限の設定を変更して操作してください。（102 ページ参照）

メッセージ	原因	処置
MDは録音されていません。	MD に再生可能な音楽データが記録されていない場合に表示されます。	再生可能な音楽データが記録されてるMDを入れてください。
ディスクをお確かめ下さい。	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	正しいディスクをお使いください。

※1　イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2　この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表に基づき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症　状	考えられること	処置
低温時に電源を ON にした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままでお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
地図画面、オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的ノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの （例）マイナスイオン発生器 電磁波を発生するもの （例）携帯電話、無線機	本機から出来るだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
音が出ない。	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・MD・DVDが入らない。	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っている CD・MD・DVD をイジェクトしてから、お好みのCD・MD・DVDを入れてください。
CD・MD・DVDの再生ができない。	結露している。	しばらく放置してから使用してください。（29 ページ参照）
	CD・MD・DVDに大きな傷やソリがある。	他のCD・MD・DVDを入れてください。
	CD・MD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。 （30 ページ参照）
	CD・MD・DVD が裏返しになっている。	CD・MD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	対応していないCD・MD・DVDが差し込まれている。	対応しているCD・MD・DVDを入れてください。（29 ページ参照）

症　状	考えられること	処置
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンで画面を消したとき。	AUDIO表示 または 現在地 を押してください。(48 ページ参照)
映像も音も出ない。	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。
TVの映像または音が出ない。	VTR入力になっている。	SOURCE を押してから、TV にタッチしてください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは 99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

用語説明

CD-R
（Compact Disc Recordable）

データを一度だけ書き込めるCDのことです。いったん書き込まれたデータは消去できません。容量は通常の CD と同じ 650MB（音楽74分相当）のものと、700MB（音楽80分相当）の２種類があります。

CD-DA
(Compact Disc Digital Audio)

音楽データの記録・再生のための規格です。１トラックに１曲書き込まれ、CD には最大74分まで収めることができます。

CD-RW
（Compact Disc ReWritable）

相変化記録方式を採用し、任意のデータを何度でも書き込んだり消去したりできる CD のことです。容量は700MB（音楽80分相当）です。

スーパーオーディオCD
（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録する DSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。
スーパーオーディオ CD には以下の種類があります。
●シングルレイヤーディスク
HD層*[1]が１層のみのディスク
●デュアルレイヤーディスク
HD層が２層のディスク
●ハイブリッドレイヤーディスク
HD層とCD層*[2]が合わさった
２ 層のディスク

*[1] HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
*[2] CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用の PC データトラックを１枚のメディアの中にマルチセッション（CD に複数のセッションで記録する、または複数のセッションで記録されたCD タイトル）で書き込んだものです。この場合、第１セッションには音楽データトラックを記録し、第２セッション以降に PC データトラックを記録するため、音楽 CD プレーヤーは第２セッション以降の PC データトラックを再生することがなくなります。

MP3

MP3 は MPEG Audio Layer Ⅲ の略で、MPEG Audio Layer3 は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約 1 ／ 10 のサイズにすることができます。

ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3 タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

コピーコントロールCD（CCCD）

(Copy Control CD)

パソコンなどでのコピーやリッピング（ＣＤに記録されている音声を、パソコン上にデータとして取り出したり、ファイル化すること）ができないようにコントロール（制御）しているCDです。

シースルーディスク

(C-thru Disc)

記憶部分に、透明または半透明のあるCD。

エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

セッション

CD- R 、CD- RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。１枚のCD-R/RWに１つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、１枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

UDF

(Universal Disc Format)

OS に依存しない光ディスク用のフォーマットの一つです。DVDやCD-RWなどに採用されているフォーマットです。

音声多重

テレビの音声はもともとモノラル（単一）でしたが、周波数の隙間を利用することで音声を多重化し、別の音声を送れるようになりました。音声多重としてはステレオ放送が一般的に利用されていますが、日本語・英語などの２音声で利用されることもあります。

トラック

音楽 CD では曲の 1 区切りをトラックといいます。

索引

五十音順

ア

明るさ 49
アングル切換 96
色合い 49
色の濃さ 49
エリアスイッチ ....55，82
音の調整 36
音質の調整 38
音声切換 98
音声多重放送 83

カ

画質調整画面 47
画面モード切り替え 51
局名スイッチ ....56，83
継続表示 50
交通情報 55
コントラスト 49

サ

シースルーディスク 113
視聴制限 102
自動解除 50
字幕切換 97
主音量の調整 36
スーパーオーディオ CD ....30，112
静止画の設定 46
操作音の設定 36
ソースメニュー画面 34

タ

タッチスイッチの表示を切り替える 95
地上アナログ放送 78
地上デジタル放送 78
チャンネルを記憶する 80

ハ

ハーモナイザー 45
背景画 46
ビデオ CD 59
標準画モード 51
昼画表示 47

マ

マルチアングルマーク 101

ヤ

優先画面の設定 50
夜画表示 47

ラ

ラジオの使い方 52

ワ

ワイド 1 画モード 51
ワイド 2 画モード 51
ワイド 3 画モード 51
ワイドモード 51

アルファベット/数字

A

AREA.P ....55，82
AUTO.P ....53，80

C

CCCD（Copy Control CD）..........30
CD/DVD ± R
（CD/DVD ± Recordable）..........29
CD/DVD ± RW
（CD/DVD ± ReWritable）..........29
CD-EXTRA ....59，112
CD プレーヤーの使い方 58
Circle Surround Ⅱ 44

D

DSP 39
DVD ビデオの特長 86
DVD プレーヤーの使い方 90

E

EQ 40
EQ カーブ 40

F

FADER / BALANCE 43

L

LOUDNESS 37

M

MD プレーヤーの使い方 74
Mixed Mode CD 59
MP3/WMA プレーヤーの使い方 62

P

POS 42

R

RAND ....60，64，75
RPT ....60，64，75

S

SCAN ....61，65，76

T

TV 設定画面 82
TV を見る 79

V

VOLUME スイッチ 36
VTR コード 105
VTR の使い方 105

MEMO

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番4号

製造元　富士通テン株式会社　〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

PART No.08A40-9J0-4100-8B

090002-2941A700 0607K（N）